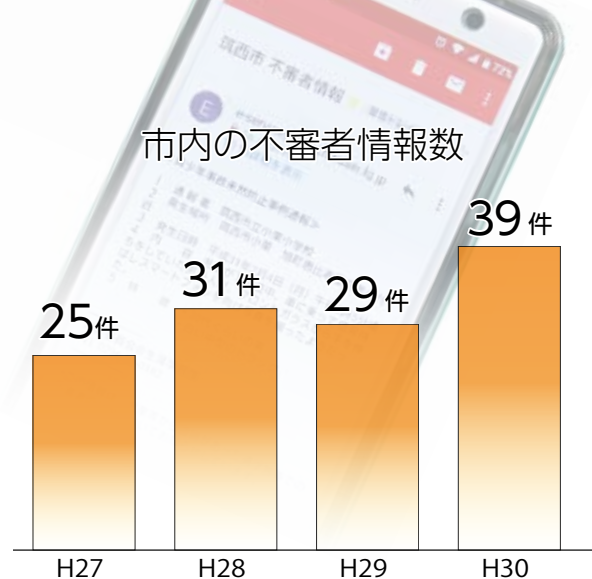


子どもたちの安全を守る

地域子ども安全ボランティアが活躍中

子どもに対する犯罪目的の声かけやつきまとい、子どもが巻き込まれる交通事故が全国的に多発するなか、筑西市でも学校に寄せられる不審者情報は、増加の傾向にあります。平成30年には、学校への通報が39件にのぼり、その内の3件は子どもたちへ殴りかかるなど、暴力を含むものでした。いま、子どもたちの登下校中の安全の確保が急務となっています。



「地域の子どもは地域で守る」
 犯罪や事故を未然に防止するには、行政や学校の対応だけでは限界があります。

現在市内では、約5,700人が地域子ども安全ボランティアに登録し、「地域の子どもは地域で守る」を合言葉に、子どもたちを事件・事故から守るため、登下校中の見回り、あいさつ・声かけ運動の推進、学校・公園広場周辺の巡回や、不審者などの発見時に学校や警察に連絡するな

どの見守り活動を行っています。
**「できる人ができる時に
 「ながら見守り」**

不審者に対して一番の抑止力となるのは、人の目があることです。ウォーキング、買い物、ペットの散歩、花の水やりなどを、子どもたちの登下校の時間に合わせて行っていただくことで、地域の防犯力が上がります。見守りの空白地帯を作らないためにも、ぜひ「ながら見守り」にご協力ください。



通学路で立しようを行うボランティア

あなたの力が必要です！

「地域子ども安全ボランティア」、「こどもを守る110番の家」に協力してくれる人 **募集中**

- ・活動に協力していただける人は、各小学校又は生涯学習課に申し込んでください（随時受付）。
- ・都合により脱退される場合は、生涯学習課までご連絡ください。

☎ 生涯学習課 ☎ 22-0182

いざという時の避難場所「こどもを守る110番の家」



「こどもを守る110番の家」は、子どもたちが声かけや痴漢、つきまといなどの被害を受けたときに、避難場所として子どもたちを保護し、警察などへ通報するボランティア活動です。

現在、各小学校をとおして、市内全域で登録状況の更新や古くなったプレートの取り換えを行っています。